



成隣だより

平成27年8月27日
第5号
昭島市立成隣小学校
校長 長野 基

込められた思い

校長 長野 基

夏休みも終わりを迎える最後の土曜日から日曜日にかけて、今年で38回目を数える24時間テレビが放送されました。私は土曜日も日曜日にも用がりましたが、合計3時間ぐらいは視聴しました。毎年感心するのが100kmマラソンです。今年はロック歌手のDAIGOさんが24時間かけて走っていました。7月初めに日本の北と南を出発し、様々な思いをもった人達がリレーで47都道府県をつないだ2本のたすきを、DAIGOさんが肩からかけていました。日頃運動をほとんどしないというDAIGOさんが、たすきに込められた思いをゴールに運ぶため、必死に走る姿がとても感動的でした。きっと自分一人で100km走れるかといったら、決して走れません。多くの人の思いを感じているからできることなんだと思いました。

皆さんのご家庭では、この夏休みをどうお過ごしになられましたか。東京では8日連続の猛暑日（最高気温35℃以上の日）という観測史上初の記録を作りました。甲子園の高校野球では、ベスト4に東京代表の2校を含めて4校とも東日本勢というのも史上初の記録。世界水泳大会で金メダル3個というのも新記録ということです。また、大阪府では中学一年生の男女が誘拐され命を奪われるという痛ましい事件や箱根山、口永良部島に続き桜島も噴火の警戒をするなど、いろいろな話題があった夏です。昭島市ではお祭りがいくつもありました。スポーツをしている人は暑い中で練習や大会に参加したり、合宿に参加したり苦しくも楽しい時間を過ごしたことでしょう。このような夏だからこそ、親子でゆっくり話をする時間をもてたのではないのでしょうか？学期中よりは親子で過ごす時間が増え、親子の絆が深まったことと信じています。

さらに、今年は戦後70年、今日本には70歳以上の方が2400万人以上います。これは日本人の約5人に1人が70歳以上ということで、日本人の5人に1人が戦争体験者ということになります。世界中で唯一原子爆弾を落とされた国として、決して戦争の悲惨さを忘れてはならないのです。また、群馬県の御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落して30年、亡くなられた520名の方々や助かった4名の方々のご遺族やご関係の皆様にとって、毎年8月12日は心の締め付けられる日だと思います。私たちは、DAIGOさんのように、周囲の方々の優しさや期待を強く感じて行動すると同時に、日本中、世界中に苦しく辛い思いをしている人達がたくさんいることを理解して、自分たちの今を大切に生きていかなければなりません。

親の思い、子供の思い、地域の方々の思いなど、たくさんの思いを知ることができたら、この夏休みはとてもいい時間を過ごせたということではないのでしょうか。

2学期は大きな学校行事（運動会、学習発表会）とPTA行事、地域行事など、盛りだくさんです。運動に、勉強に、芸術に、読書に適切な秋を迎えます。どんなことにもチャレンジできますが、その時には一寸考えてみてください。『自分のために、周りの大勢の人が、目に見えないところで力を貸してくれている』ということ。多くの人の思いがあるから、私たちは毎日を楽しく、幸せに生きていけるのですね。

『私の周りの多くの人達、いつもありがとう。2学期もよろしくお願ひします。』

